



浅草ものづくり工房

? なぜこの事業を行なっているのですか？

台東区は靴、鞆、バック、帽子、ジュエリー、アクセサリなど、ファッショングッズの全国有数の生産地であり、これらの産業は台東区にとって大切な地場産業（※解説①）です。

しかし、これらの産業は、昨今の海外からの高級ブランド品や安価な製品の大量流入などにより業績の低迷、事業所数の減少傾向が続いており、台東区でも例外ではありません。

また、職人の高齢化及び後継者不足も深刻な問題となっており、これらの産業の活力と競争力を高めるため、ものづくり分野を支える人材の育成が必要となっています。

そこで、台東区では、地場産業のものづくり分野を支え、将来の業界を担う職人・クリエイターを育成するための創業支援施設として、平成21年12月に「浅草ものづくり工房」を開設しました。

? どのようなことを行なっていますか？

浅草ものづくり工房では、施設に入居している企業（個人事業主も含む）に対して、インキュベーション・マネージャー（※解説②）が中心となって様々な支援を行っています。

入居している企業には、入居期間中（原則3年以内）に、企業としての競争力を身につけてもらい、施設卒業後も、活躍してもらうことを期待しています。

【浅草ものづくり工房の主な支援内容】

- 経営やビジネスに関する相談
- 商品開発のための調査、技術的な相談
- 販売促進などの相談・アシスト
- 情報の発信と提供
- 業界との交流、ネットワークづくり



浅草ものづくり工房外観



ものづくりの様子

？ 事業の進み具合はどうか？

浅草ものづくり工房には、9室の貸事務所があり、現在、全ての事務所に企業が入居しています。入居者の職種内訳は、靴の製作販売が7社、鞆の製作販売が1社、アクセサリ製作販売が1社となっています。

【これまでの主な活動】

平成22年1月 展示会「東京レザーフェア」9社参加
 2月 展示会「ROOMS展」2社参加
 銀座松屋（実演・販売）2社参加
 3月 第1回モノコボ交流セミナー
 4月 銀座松屋イベント（実演・販売）2社参加
 6月 ものづくり工房主催、合同展示会「モノステージ 2010 開催」
 工房9社とその他21社参加

？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

現在の入居者に対しては、入居期間中に、様々な支援を行うことで、職人・クリエイターとして自立できるようサポートしていきます。

今後も、本施設から多くの将来の業界を担う職人・クリエイターを卒業生として輩出し、地域産業の活性化を図っていきます。

また、区が設立しているファッション関連デザイナーのための創業支援施設「台東デザイナーズビレッジ」と連携し、ものづくり部門とデザイン部門のネットワークを強化することで、高品質で個性あふれる製品を生み出すことのできる、ものづくりの街を目指していきます。

■ この事業に関するお問合せは ■

文化産業観光部産業振興課

03-5246-1131

【解説】

①地場産業

一定の範囲の地域において、ある特定の業種の中小企業群からなる企業群が集中的に立地している産業のことです。

②インキュベーション・マネージャー

事業の知識、ノウハウなどの提供や、経営相談などを行うことにより、新規に起業を目指す人を支援する人のことです。